

健康茶



TVでうわさの健康茶!! 杜仲茶のご案内

今回は名前は以前から聞いたことがあるけど、どんなお茶なのかよく知らない、という方のために杜仲茶についてお話しいたします。



ティーバッグ3g×30p
(参考上代¥950)



先日、あるテレビ番組で杜仲茶がメタボリックシンドロームに効く!!との報道から一時、日本中の杜仲茶の在庫がほとんど消え失せてしまうほどのブームが起きました。

杜仲は中国で最も古い本草書(薬学事典)、『神農本草経』にも記載されるほど歴史の古い植物です。

※『神農本草経』は後漢時代(AC100頃)に編纂された薬学事典。神農と呼ばれる伝説上の偉大な人物「三天子」の一人で、人々のために農耕を広め、医薬を発見した人です。漢方学の基となる「医食同源」の基礎を作り上げた人でもあります。

中国の中西南部(四川、陝西、湖北、河南、広西、貴州、雲南など)で栽培されており、学名はEucommia ulmoides、杜仲科トチュウ属トチュウという一科一属一種の珍しい植物です。もともとその樹皮を生薬(強壮、強精、鎮痛効果)として用いていたのですが、一度樹皮をとってしまうと何年もその再生に時間が必要で生産性が高くないことから、今では杜仲の葉っぱをお茶にすることが広まりました。

※杜仲の葉っぱをお茶にするアイデアは日本人(長野県伊那)によるものだとの話もあります。

樹皮や枝、葉には「グッタペルカ」と呼ばれる銀白色のゴム状の成分が含まれており、その成分も杜仲茶の特殊な作用の一つとされています。

杜仲には以下のような効果があると中国の研究機関から報告がでています。

1. 高血圧対策: 血圧を低下させ、血行障害を改善する。
2. 利尿効果: 新陳代謝が促され、腎臓の治癒にも効果がある。
3. 関節痛対策: 鎮痛効果を持っており、リウマチや神経痛などにも有効。
4. 肝機能補整: お酒などで弱った肝機能を高め、正常な状態に近づける。

また、日本国内でも特定保険用食品として杜仲茶の成分「杜仲葉配糖体」を特別に抽出して開発した商品も売り出されています。

※「杜仲葉配糖体」: 代表成分「ゲニポンド酸」。副交感神経を刺激し動脈を弛緩させる働きがあるので血圧上昇を抑制し、血圧を正常な方向に調整する効果がある。



明山茶業株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-25-11 Tel: 03-3351-3240 Fax: 03-3351-3242

URL: <http://www.meizan-tea.co.jp> /E-mail: info@meizan-tea.co.jp

【取扱商品】

25kgバルク

1kgパック

ティーバッグ商品